

令和5年度PTA役員研修会(西部) 第1分科会【家庭教育】

■平野先生講演

- ・ 自己紹介
- ・ 家庭教育・家庭教育支援とは
家庭教育はすべての教育の出発点
- ・ とっとり子どもたちの姿
令和4年度全国学力調査での全国平均との比較
スマートフォン、今は使わせないでなく正しい使い方を教えるということになっている
- ・ インターネットの利用状況
年々増加している
学習にも使用しておりある程度仕方がないこと
- ・ 家庭をめぐる背景・現状
世の中の状況が変わってきている
子育ての悩み、不安を抱えている人が約7割
子育てに対する地域の支えが回答した人が7割
核家族の割合が全国で8割超
地域の身近な存在として寄り添う支援、保護者同士でつながる機会が必要
- ・ 早寝・早起き・朝ごはんと学力の関係
早寝、早起き、朝ごはんをきちんとおこなっている子どもほど学力が高い傾向にある
- ・ 鳥取県の家庭教育
「家庭の教育力の向上」が目標
県の方策「とっとりふれあい家庭教育応援事業」
たくましく、夢をもって、自立できる子
「家庭は心のねっこになる」
めざす子どもの姿とめざす親の姿
- ・ とっとり子育て親育ちプログラム
必要があれば県からファシリテーター派遣もできる
- ・ たくましく夢をもって自立できる子どもを育てるための4つのポイント
基本的な生活習慣を身につけさせるためには、放任でも過干渉でもなく、ほめたり励ましたり、相談に乗る
 - ① 生活習慣を身につけよう
早寝・早起き・朝ごはんに取り組んだ人ほど心の安定から自尊感情が高まる
 - ② 夢を育てよう
読書、体験活動（自然体験等）、夢の語り合い（親の背中を見て育つ）
 - ③ 生きる力を育てよう
自己肯定感を育むためには関わりが重要（親、近所）
 - ④ 広い心で受け止めよう
基盤となるのは子どもと大人との「信頼に基づく心理的な絆（愛着）」
- ・ 最後に
子育てはあっという間、失敗もあると思うが、楽しんで子育てしてほしい

■長尾さん研修

・アイスブレイク

各自が記入した①好きな色 ②好きな四季 ③好きなくだもの ④好きなラーメンの味
全員が立って①～④の項目ごとに同じ回答の人が集まった

・自己紹介

各テーブルごとに①～④のカードを元に自己紹介をおこなった

・この研修での3つの方策

参加、尊重、守秘

・ワークシートに沿った研修

① ワーク1「受験者に求める力を尋ねる質問」を各自2つ考える

② ワーク1の回答をテーブルで共有し、

ワーク2「仕事をするうえで必要な力」ベスト3をテーブルで考えた

(各テーブルから挙げた回答例)

コミュニケーション能力(一番多い回答)

協調性、適応力、意欲、主体性、自己解決力、応用力、体力、人間力、自己管理能力

継続力、忍耐力、対応力、発言力、発想力、脱力

③ 1つの力に絞って自分の子どもが身につけるために親ができることを各自考えた

(発表はせず、長尾さんよる本日から実践してほしいとアドバイス)

役員、参加者による発表

(白石さん) 没頭する力

(山本さん) 自分の軸だけでなく人の軸でも考えられる余裕であったり寛容力

鳥取県は子育てするには最高の環境

(木村光哉さん) 人間力

小さい頃から子どもでなく人として接することになっている

勉強でなくても好きなことを見つけてほしいと伝えている

(長尾さん) 日々多くの人と関わるのが大事

④ 「今日を振り返って」を各自記入

施策説明：鳥取県教育委員会 西部教育局 社会教育担当 田中 恒治 氏

- ・ SNS 等のこと
 - ともだちが傷つくことをしない
 - りよう時間を決めよう
 - のせない個人情報
 - かきんしない
 - ラインは相手のことを考えて送信
 - あわない SNS で知り合った人
 - ゲームソフトの年齢制限を守る
- ・ 県の派遣事業のこと
- ・ コミュニティスクールのこと

PTA役員向けワークショップ

～ピンチをチャンスに！こんなときどうする～

ファシリテータ 松岡 智也（鳥取県PTA協議会顧問）

コロナ禍でのPTA活動自粛を経てコロナ明けとなり、PTAの存在意義が問われている中、PTAの【役割】、【課題】について話し合いその【最善策】を図る。

PTA活動で大事なこと・・・**参加**（参加しやすい環境）、**尊重**（いろいろな考えに耳を傾ける）、**守秘**（知った情報はしゃべらない）
を基本理念に置いて出た意見

- PTAはボランティア団体ではなく互いを助け合えるグループでありたい。
- 役員の負担感を減らしたい。
 - 役員会等で予め終了時間を示すことで負担が減るのでは。
 - 何のために集まるのか事前にみんなと共有すると良いのでは。
- PTA役員自身が楽しんでやってみる。楽しいところには人は集まる。
- 評議会など会長が「自分たちはこうしていきたい」と伝えることでも理解は広がる。
- 協力していただいた後は「ありがとう」の気持ちは伝える。相手も気持ちが良い。
- どんなに頑張っても人それぞれに温度感は違う。それに対して絶対にマイナスなことは口にしない。

いじめ・不登校総合対策センター 森田先生

- ・不登校(小中高)県内400人
 - ・不登校の定義 年間 30 日以上の欠席。
 - ・原因は多岐にわたっている。
- ⇒ワーク「不登校の原因・要因を書き出してみましよう」3 グループにわかれ話し合いました。
- けんか、いじめ、何となく、友達がいない、勉強についていけない、先生とあわない、発達障害、校則への違和感、学校に魅力がない、他にやりたいことがある等の意見が出ていました。
- ・保護者も不登校の理由が分からずどうしていいか分からないという相談は多い。

いじめ・不登校総合対策センター 山口先生

- ・不登校になる前兆…笑顔が減る、会話が減る、学校の話が減る、宿題の取りかかりが遅くなる、食欲増減、ゲーム、イライラ
- ⇒ワーク「朝の忙しい時間に子供がおなかが痛い…。もう今週三回目。どんな声掛けをする？」
- 大丈夫？病院行く？行ってみて痛かったら保健室にいたら迎えに行くよ。等々

- ・親も忙しく追い詰められれば「どうするの！？自分で決めて。」などと言ってしまうこともあるだろう。
 - ・子供の気持ちは「行かなきゃいけない、自分はだめだなあ。」
 - ・人間の欲求の働きには5段階があり、基本的欲求からはじまり、自己実現欲求が一番上。心の根っこにあるのは認められたい、愛されたい気持ち。
- ⇒ワーク「今伝えたことをふまえて、もう一度声掛けするなら？」
- 大丈夫だよ。今日はゆっくりしたら。等の声掛けをしてほしい。

- ⇒ワーク「地域の一員としてPTAとしてどんなサポートができますか」
- 急には話せない、普段からの関係作りが大事。不登校の研修会等の学びの場作り。保育園から中学校までずっと同じメンバーで逃げ場がない。
- ・傾聴、受容、共感が心に寄り添う基本アプローチ。うなずきながらニュートラルに聴く。
 - ・言葉の力は大切。すごいですね。十分ですよ。少しお手伝いさせていただきませんか。信じて伝えていく。

質問

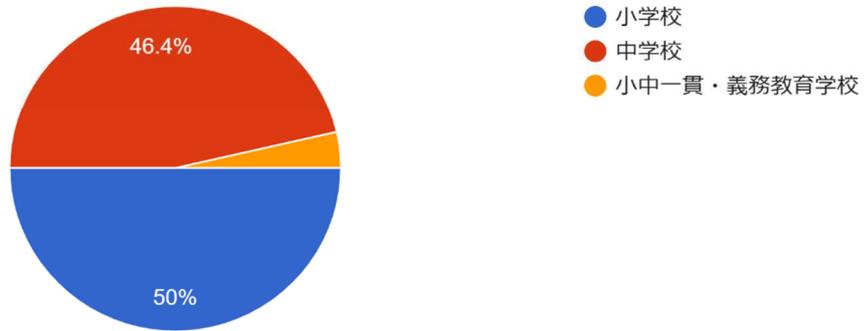
- ・学校での相談体制を整えてほしい。
- (森田)生徒指導提要が改定され、「チーム学校」の支援が始っている。カウンセラーに加えSSWや保護者も支援会議に加わる。
- どこの学校か？ →米子にはない。 →米子にないような事例なら、ないと同じだ。
- ・今日配布された相談窓口一覧のリーフレットに、保護者の会も入れてほしい。困っている親に情報を届けたい。
 - ・今日のお話の中で、CSでの勉強会の話があったがどんな体制なのか。教員免許がある人が教えるのか。
- 地域の民生委員さんが対応している。分かる範囲で勉強も教えるが、それよりも居場所として大切。話を聞いてもらえる。
- (司会謝礼)西部指導者研修会でいじめを取り上げるのは初めてだと思う。県の担当者や保護者、当事者等をつなぎ共有でき、要望も伝えられるいい会になった。

令和5年度

鳥取県PTA役員研修（西部地区）参加アンケート結果

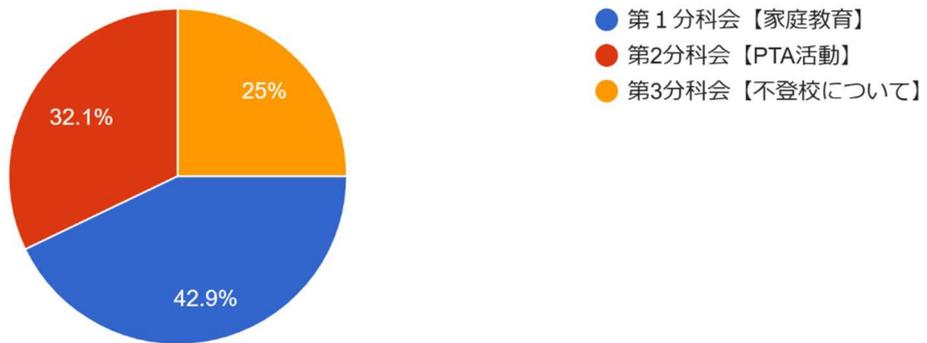
1 学校区分

28件の回答



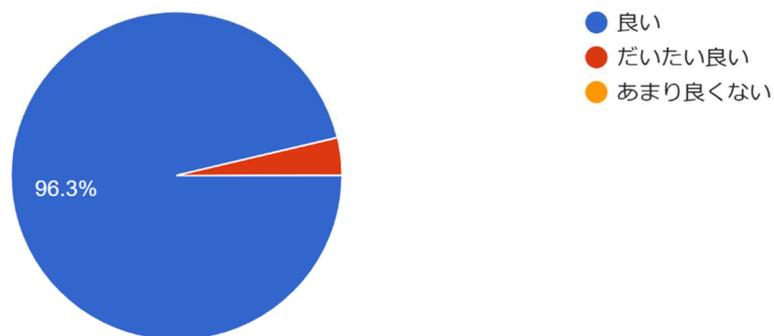
2 参加分科会

28件の回答



3 分科会について（1）テーマ（家庭教育・PTA活動・不登校）について

27件の回答



(2) 研修した内容について

第1分科会 家庭教育

- ・日々を大切に、その子の個性を認めながら、家族みんなで愛情深く育てていきたいと思った。参加の保護者の様々な意見が聞けて、とても有意義だった
- ・コミュニケーション(対話)の必要性、子どもの話を聞く、話しやすい環境が大切だと思った。どのタイミングで進路を決めるかわからないので、様々な体験や経験が大事だと思った。
- ・子ども自身が自分の可能性を狭めないよう、視野を広く持てるよう、日常の会話を大切にしていきたい。
- ・いろいろな考え方、見方があり、それを求められている現代人は大変だなと改めて実感。親として何をし
てあげれるかで迷った。一緒に考えたり、話したり、できる事を少しずつやっていこうと思った。
- ・子どもの将来のため親に何ができるのか、改めて考える良い機会となった。正解はわからないけれど、
子どもが幸せになるために、色々やってあげたいと思う。
- ・社会で必要なさまざまな力をつけるために子どもとの付き合い方を考えさせられた。
- ・初めてこの様な会に参加しました。大切な力のコミュニケーション能力は多数のグループから出ていた。
私もその通りだと思うとともに、親である自分自身ももっとコミュ力高めたいと思った。
- ・まだ子どもが 9 才、6才、2才でまだ先が長いですが、色々な人と出会いいろいろな経験をさせてあげた
いと思った。
- ・子どもを一人の人間として尊重し、その子の個性を伸ばしていきやすい環境を整えてあげたい。
- ・どんな能力を持とうとも、一人の人間として子どもと向き合いたい。好きな事が見つかるよう
いろいろな経験ができるようサポートしたい
- ・中学生になり、将来や進路のことを少しずつ考えるようになってきたので、今日の研修に参加して、自分
で考え、自分で行動して、色々な経験から色々見につけてほしいなと思った。親としてはそれを見守りなが
ら子どもと色々な意見交換(話す機会)をしていきたいなと思った。
- ・楽しい時間を過ごすことができた。別の学校の保護者さんのお話は本人さんにとっては当たり前
の出来事かもしれませんが、面白く聞くことができた。ありがとうございました。
- ・経験や体験が大切！子どもに寄り添っていないなと実感した 
- ・人とかかわる事、様々な体験をする事、人間として生まれて生きていく、育てていくことの中で、これらの
ことがやっぱり必要だなと再確認した。子どもにたくさんの豊かな経験をさせてやりたいと思った。子育てを
楽しもう!!
- ・必要な力の話し合いで、たくさんの意見が聞けて、なるほどと思った。私は子ども達にニコニコしてな
さい！と教えています。そして自分ができる事は全力でやりなさい。困った人が近くにいたら助けてあげな
さい。きっと自分が困った時に誰かが助けてくれるからと話しています。
- ・子どもの持っている力を引き出すには、親や周囲の大人の係わりが大切。いつ、どこで入るかわから
ないスイッチを効果的におせたらいいな。
- ・これから必ず出ていく社会へ向けて様々な力を付けるために親として何ができるのか。とても考えさせ
られる話をお聞きできました。ありがとうございました。
- ・仕事をする上で、たくさんの力が必要な事が分かって良かった。仕事に限らず、普段の生活にも必要と
思った。子どもとのかかわり方を改めて考えさせられました。色々な話が聞けて良かった。ありがとうございました。

- ・何が子どもの将来を決めるきっかけになるかはわからないので、様々な経験をさせてあげたい。
- ・色々な意見や考え方があるなかで答えは一つではない事、同じ行動でも結果はそれぞれ違うと思う。思った結果ではなくても、そこで終わりではないという事が重要なのだと思う。
- ・楽しい時間でした。
- ・今後、子育てをしていくために講師や保護者の方々の意見が聞け、非常に参考になりました。今後の子育てに参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・改めて子どもと向き合い、対話したいと思いました。数年たてば子どもも家を出ていきます。親として子どもに必要な“力”を身につけさせて送り出したいです。
- ・5人の子どもがいますが、就活真ただ中です。今からでも遅くないので、まだまだ子育て親育ちを頑張りたいです。いろいろな話が聞けて良かったです。
- ・色々な話が聞けて、思ったよりおもしろかった。
- ・色々な仕事をされている中で、色々な考え方、思いがみんなあるんだなと思った。私は今日の話を持ち帰って夫婦で話し合いたいと思います。
- ・子どもに対する思いはどの方も同じ。周りの意見を聞くことは自分自身の成長にもつながる。子どもの環境作りのためにも親ができる事をもっと考えていく必要があると思う。
- ・家庭内では勉強になる話ではあったが、学校での活用となるとすぐに方法が思い付きません。
- ・これから子どもにどのようなようになってほしいか考えることができた。
- ・まずは家庭で実践し、出来そうであれば学校の方でも活かしていけたらと思う。
- ・自分の中で考えれる内容だったので、いろんな保護者にもきいてほしい
 - ・他の参加者の皆さんも同じような悩みをかかえておられ、色々な意見を聞くことができ、とても参考になった
- ・改めて子どもとの向き合い方について考えることができた。
- ・県へファシリテータの派遣をお願いしている。次回の参考にさせてもらう。

第2分科会 PTA 活動

- ・PTA 活動報告としてあげたい
- ・PTA 役員になったばかりですが、ワークショップもお話もこれからの活動のヒントになり、また他の PTA との共通課題や、違う点、参考になる点があり、とても有意義でした。
- ・PTA の役割として子どもも親も楽しめる学校作りという話しが勉強になりました。負担を楽しいに変える雰囲気作りをできたらなと思いました。負担軽減という意味で、会議の終了時間の設定や活動の取捨選択は大切だと感じました。前例踏襲でなく、最低限する事以外はまず企画する本人たちの役員が楽しいと思えることをするというのがとても共感でき、本校でも共有したいと思います。
- ・みなさん同じように負担感の悩みを抱えておられる事がわかり、会議の際の注意点など、具体的ですぐに実践出来そうな解決策も教えてもらえて参考になりました。
- ・答えがない課題なので今日の内容を踏まえてこれからの活動のあり方を考えたい。
- ・具体的なよいアイデアももちろんだが、大事にしたい考え方、思いというのを聞かせていただいて、これからの活動の指針にしたいと思った。
- ・PTA の意義を確認できた。

第3分科会 不登校について

- ・不登校は誰にでも起こることなので、サポート体制など知っておくことで子どもが悩んでいるタイミングで提供できたり、親や学校と一緒に支え合えることができると思う。
- ・鳥取県内で教育支援センターやハートフルスペースが設置されていること、不登校であっても居場所づくりができること、学校に戻るだけが目標ではないことなど PTA でも共有できるとよいと思う。
- ・不登校は非常に身近なテーマであるが、慎重にしないといけない問題。学校での展開は専門的な知見がいる為難しいと考えた
- ・「不登校」ってとても奥深い。当事者のみでなく、その周囲の方もサポート、理解が必要。もっともっと広く研修を広めてほしい。

4 今後、研修したい内容

- ・スクールカウンセラーのあり方
- ・また同様の研修に参加したい

5 研修全体を通して

- ・とてもよかったです。もっとたくさんの方が参加するとういと思います。
- ・予想よりも楽しい会でした。開催いただきありがとうございました。
- ・県教委の資料とスライドが異なりましたが、せっかく作ってこられたものが使えないなんて勿体無いので、確認して準備してもらえるといいなと思いました。
- ・不登校のリアルが分かって勉強になった。まずは家庭での子どもの人格形成が重要であると感じた。
- ・お忙しい中、講義ありがとうございました。
- ・パワーポイントの資料がほしい。今回の研修会に参加し、不登校に対する支援(民間・行政)について初めて知った。ぜひ、もっと情報発信してほしい(県の配布物でも)
- ・知らない人と参加型でよかった。
- ・講師の先生の実際に体験された内容の話がとてもよかった。
- ・内容が難しい
- ・研修をフィードバックする場がない